



令和6年度 秋田県の財務書類(一般会計等)のポイント

令和8年3月
秋田県出納局会計課

I 貸借対照表

資産や負債の状況を表示

(単位：億円)

科目名	R6年度	R5年度	増減額	科目名	R6年度	R5年度	増減額
【資産の部】				【負債の部】			
①固定資産	14,031	14,528	△ 497	③固定負債	12,639	12,826	△ 187
有形固定資産	11,686	12,161	△ 475	地方債	11,391	11,526	△ 135
無形固定資産	365	365	△ 1	その他	1,248	1,301	△ 53
投資その他の資産	1,981	2,002	△ 22	④流動負債	950	948	2
②流動資産	393	398	△ 4	1年内償還予定地方債	828	838	△ 10
現金預金	184	192	△ 9	その他	122	110	12
その他	210	205	4	⑤負債合計(③+④)	13,589	13,775	△ 185
				【純資産の部】			
				⑥純資産合計	835	1,151	△ 317
資産合計(①+②)	14,424	14,926	△ 502	負債及び純資産合計(⑤+⑥)	14,424	14,926	△ 502

- ・資産合計は1兆4,424億円となり、減価償却による資産の減少などにより、前年度比502億円減少
- ・負債合計は1兆3,589億円となり、地方債の減少などにより、前年度比185億円減少
- ・資産から負債を差し引いた純資産合計は835億円となり、前年度比317億円減少

II 行政コスト計算書

1年間の行政サービスに費やしたコストを表示

(単位：億円)

科目名	R6年度	R5年度	増減額
①経常費用	4,880	4,865	15
業務費用(人件費、物件費等)	2,612	2,516	95
移転費用(繰出金、補助金等)	2,268	2,349	△ 81
②経常収益	137	149	△ 11
使用料及び手数料	65	66	△ 1
その他	72	83	△ 11
③純経常行政コスト(①-②)	4,742	4,716	26
④臨時損失	373	152	221
⑤臨時利益	15	9	6
純行政コスト(③+④-⑤)	5,100	4,858	241

純行政コストは5,100億円となり、前年度比241億円増加
※減価償却費、引当金繰入など現金支出を伴わない経費を含む

III 純資産変動計算書

純資産の1年間の増減を表示

(単位：億円)

科目名	R6年度	R5年度	増減額
①前年度末純資産残高	1,151	1,276	△ 125
②本年度純資産変動額	△ 317	△ 125	△ 192
純行政コスト(△)	△ 5,100	△ 4,858	△ 241
税金等	3,703	3,621	82
国県等補助金	1,051	1,073	△ 22
その他(資産評価差額等)	30	40	△ 11
本年度末純資産残高(①+②)	835	1,151	△ 317

純資産残高は835億円となり、前年度比317億円減少

IV 資金収支計算書

1年間の現金の受払いを表示

(単位：億円)

科目名	R6年度	R5年度	増減額
①前年度末資金残高	181	197	△ 17
②本年度資金収支額	△ 9	△ 17	8
業務活動収支	△ 291	△ 212	△ 79
投資活動収支	432	311	121
財務活動収支	△ 150	△ 115	△ 34
③本年度末資金残高(①+②)	172	181	△ 9
④本年度末歳計外現金残高	12	12	0
本年度末現金預金残高(③+④)	184	192	△ 9

現金預金残高は184億円となり、前年度比9億円減少

【参考】県民1人あたりの貸借対照表

R6年度		R5年度	
資産 158.9 万円	負債 149.7 万円	資産 161.4 万円	負債 149.0 万円
純資産 9.2 万円		純資産 12.5 万円	
人口(R7.1.1) 907,593人		人口(R6.1.1) 924,620人	

※人口は住民基本台帳人口(総務省)である。

県全体の負債額は減少しているが、人口減少のため、県民1人当たりの負債額は増加した。資産の減少及び負債の増加によって、県民1人当たりの純資産は3.3万円減少した。

※ 表内の金額については、端数処理のため合計額が一致しない場合があります